

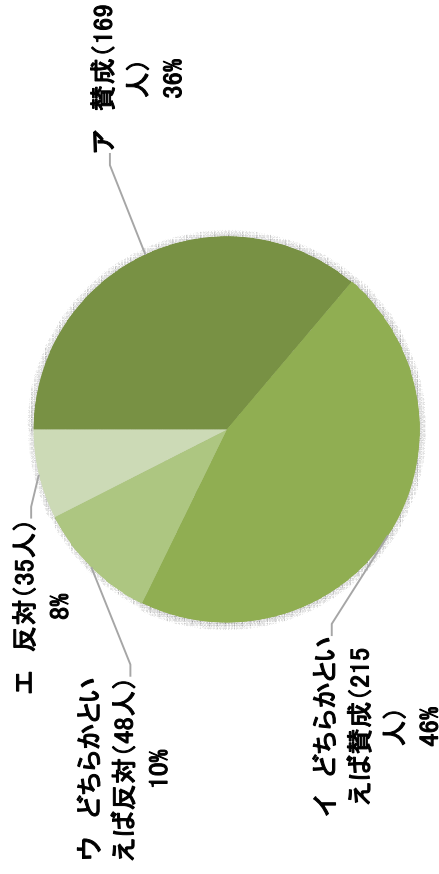
富津市小・中学校再配置計画（案）に係る 当該校保護者アンケート結果及び Q&A



平成 29 年 3 月
富津市教育委員会

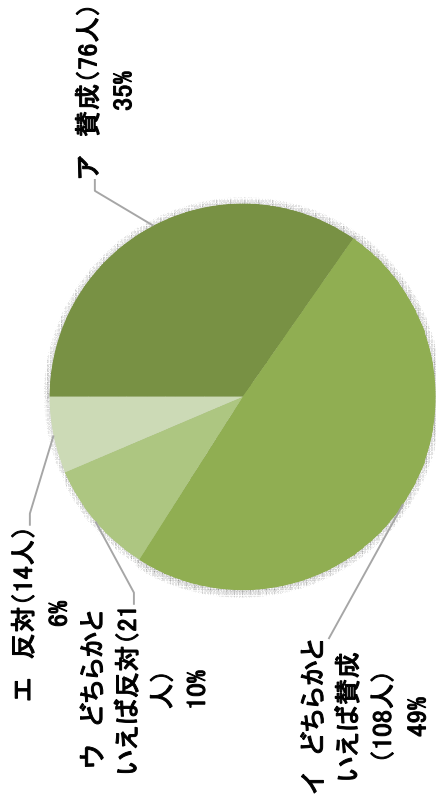
【全体集計】

保護者の意見(回答数:467人/1039人)



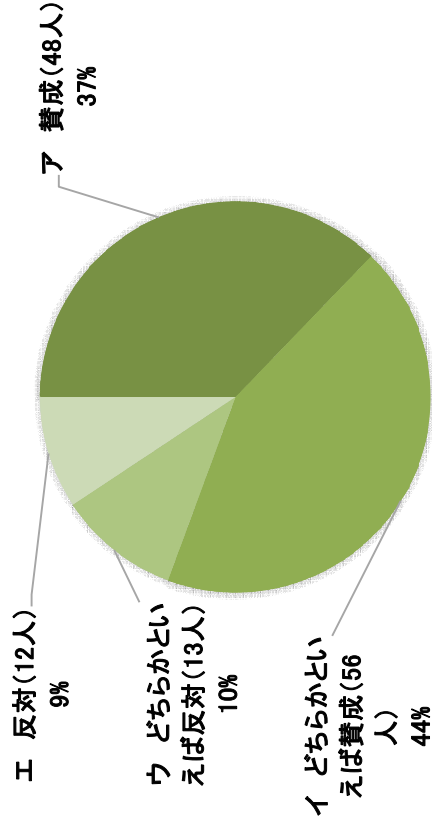
【大貫小・吉野小・大貫中・佐貫小・佐貫中集計結果】

保護者の意見(回答数:219人/582人)



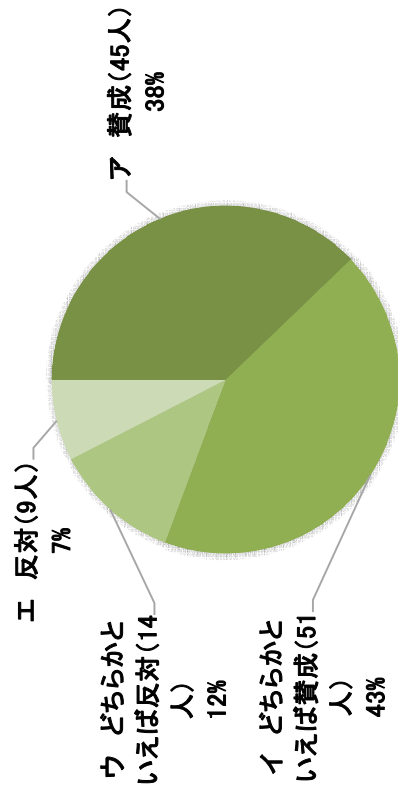
【湊小・天神山小・竹岡小・金谷小集計結果】

保護者の意見(回答数:129人/211人)

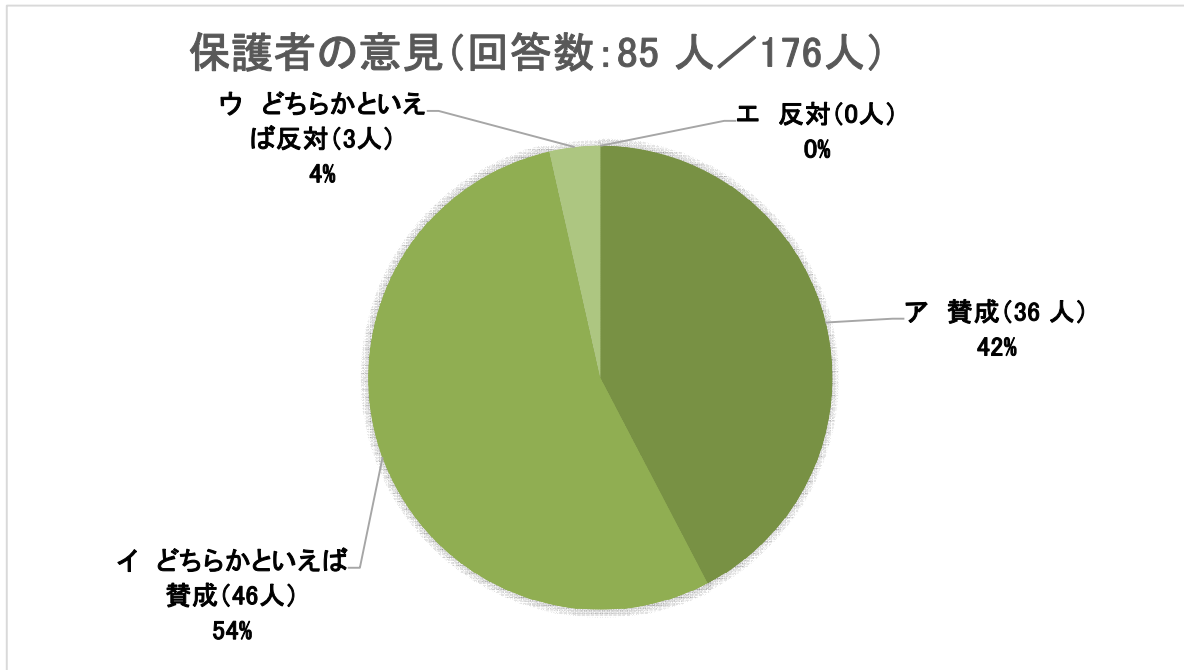


【天羽中・環小・天羽東中集計結果】

保護者の意見(回答数:119人/246人)



富津市小中学校再配置に関するアンケート
【大貫小学校集計結果】

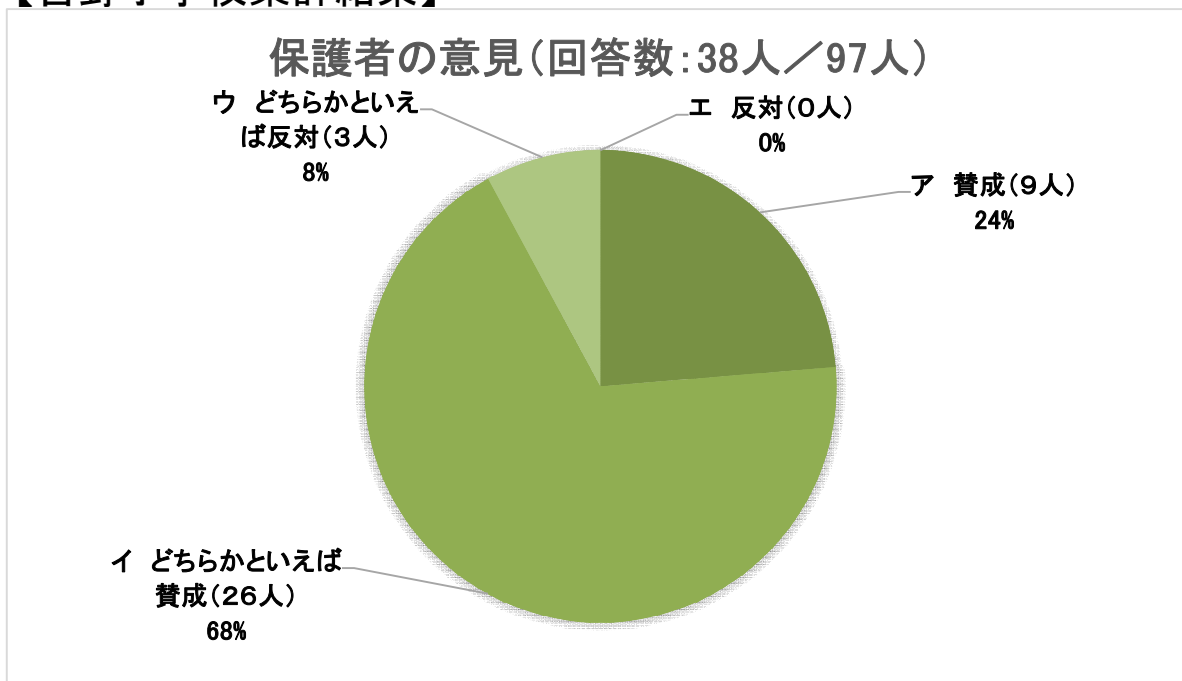


理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・特に中学校では様々な人間関係、友達との多様なコミュニケーションが子どもの大きな糧になると思うので、一定人数以下では望ましい学級運営(係・委員会・部活・行事含む)が行えない。 ・集団の力を味わいながら成長するのは様々な効果があると思う。再配置に賛成である。出来るだけ早く環境を整えてもらい。 ・多くの子どもたちの中で磨き合いをしてほしい。 ・再配置により浮いた予算があればそれを他の学校に回して教育環境をより充実させてほしい。 ・スクールバスでの柔軟な対策が必要だが、安全安心な登下校の確保が説明にあったので納得できた。 ・精神面でのケアが必要不可欠であるので、学校間でのコミュニケーションを図る工夫を取り入れ、スムーズに合併できるよう配慮してほしい。 ・1学年2クラス以上が望ましい。(6年間同じメンバーではかわいそう。クラス替えによる別れと出会いがなければ、対人関係・社交性は育たない) ・競争心が無いと感じることが多くある。(少人数だと子どもたちの中で既に順番が出来てしまい、上下関係等狭い視野で育ってしまう心配がある。) ・再配置しても、教員の数は減らさずに学習面をサポートしてほしい。 ・人数が増えることで集団行動が学べ、人との距離感などが自然に経験ができ、将来に役立つと思う。 ・現在の大貫中に佐貫小の生徒が通うということだけなのか、現在の大貫中の名称・校章・校歌・制服・ジャージ等諸々が新生されるのかわからない。 ・金銭的な面で保護者に負担がかからないようしてもらいたい。 ・隣接する旧社会体育館の解体(跡地は駐車場として活用できるのか)と、学校教育の環境整備(周辺に歩道を作る)等も併せて、是非、実行してもらいたい。 ・前倒しで再配置を行うべき。

<p>イ どちらかといえば賛成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再配置した場合の制服やバッグ等はどうなるのか(早めに決めて)。(2) ・部活動が増えた場合の体育館の利用について(十分に練習できるか) ・人数がそこそこいたほうが競争心が沸き、色々な友人・考えに出会える。(只、小学校は今のままが良い。) ・人数が少なすぎると、集団生活の中で学ぶ経験が出来ないことや複式学級の不安があり再配置に賛成ではあるが、現在の計画では大きな変化は無いと思う。 ・児童数が減しているので仕方が無い。 ・人数が少ないことで出来ないことが出てくるならば、再配置して出来ることを増やしてもらいたい。(今よりも改善された教育を望む) ・再配置だけではなく人が移住してきたいと思うような取組(施設や公共広場)が必要である。 ・勉強・運動などライバル心が芽生えて良い刺激になる。(2) ・人数が増えるといじめの問題が生じることが心配である。 ・やりたい部活がないから学区外に通っているという現状があるが、それはいかがなものかと思う。 ・遠方から登下校する子どもたちの時間や交通手段がとても心配である。(2) ・人数が増えることで、いろいろな人との関わりが出来る。(2) ・小規模校、大規模校それぞれメリット・デメリットがあると思うが、現状の再配置は仕方が無いと思う。再配置後に部活動・運動会・PTA活動が活発になり再配置して良かったと思えたら良い。 ・子どもにとっては2クラス以上の方が色々な面で良いと思われるのでどちらかといえば賛成であるが、先生方には今まで以上に目配り・心配りを心掛けてもらいたい。 ・再配置には賛成だが、中学校は受験も控える大事な時期であり、精神的に難しい時期なので子どもへの影響が心配である。 ・少子化である為、再配置は進めるべきである。(人数的に考えても大貫を中心としたほうが良い) ・「富津市人口ビジョン2040」というのが何なのかよくわからない。単に子どもの教育のためなのか、財政上の理由なのか、ベースのところを知りたい。 ・子どもは「人数が多い方が楽しくていい」と言っていた。 ・災害時の対応をしっかりと検討してもらいたい。
<p>ウ どちらかといえば反対</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の配置で良いと思われる。再配置を考えると子どもへの負担が大きい。経済的に大変だとは思いますが、現存のままで教育してもらいたい。 ・母校が無くなってしまふことは寂しい。
<p>エ 反対</p>	

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【吉野小学校集計結果】

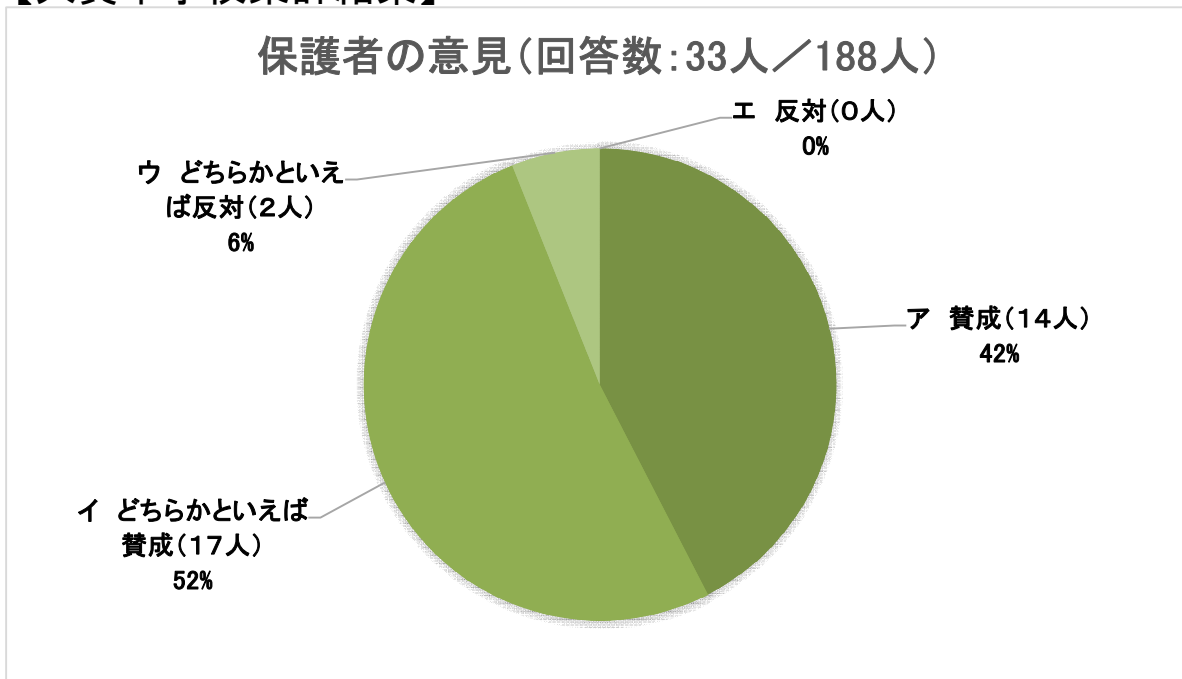


理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が多くなり、集団で経験できるとよい。 ・切磋琢磨できる。 ・学習・運動等メリットがある。 ・児童数が少なくなっているので仕方ない。 ・再配置により校舎を新設することは不要。(天羽中は補強する。新設しても生徒がまたいなくなる。)通学手段の整備に投資する。 ・根本的には人口増に努めてほしい。教育委員会は特色ある教育をアピールする。
イ どちらかといえば賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化により仕方ない。 ・生徒数が少ないと運動会等の行事が寂しく、支障がある。(3) ・競い合いが生まれる。 ・児童数が増えることは考えづらく、再配置に問題ない。(2) ・メリット、デメリットがある。(2) ・小規模校について小学校ではメリットが、中学校ではデメリットが大きい。 ・再配置を行ってみないと分からない。子どもたちのことを最優先に考えてほしい。 ・生徒数が少ないと部活動が少なく、友達も少なく、保護者の役員も大変である。(2) ・様々な人と接することがよい。(4) ・小学校がどのようになっていくか気になる。 ・学校数が多いと校舎の改築等手が回らない。 ・富津市の財政上の指針が分かるとよい。火葬場の例もあるので、将来、子どもたちの負担が増えないようにしてほしい。 ・学校が遠くなることは残念。 ・登下校の安全確保が必要。 ・成長段階に応じて、健やかに遅く育てられる環境を希望する。(2)

ウ どちらかといえ ば反対	・メリットもあるが、学校が遠くなり、通学が不便になる。 ・今後、極端に生徒数が少なくなれば仕方ない。 ・現在は生徒数が少ない分、絆が深まっている。
エ 反対	

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【大貫中学校集計結果】

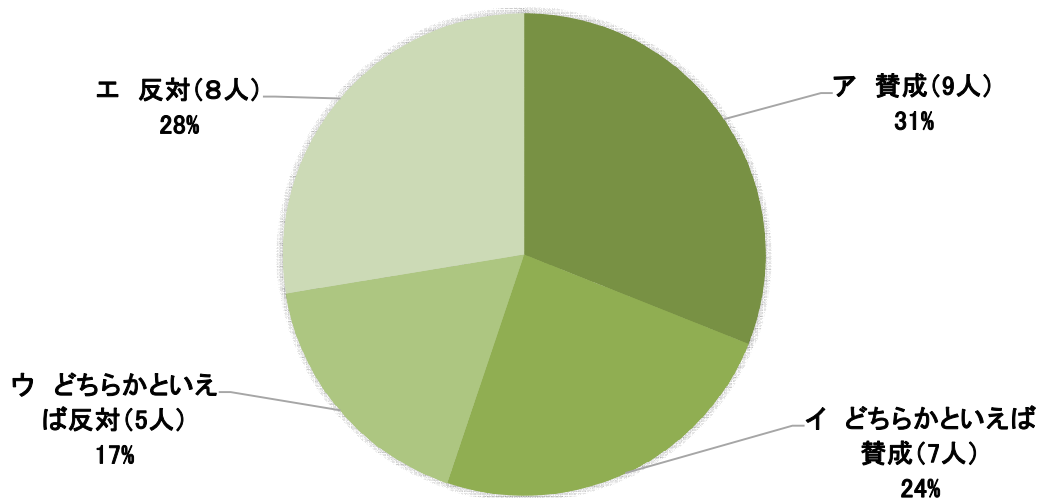


理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの安全確保をしてほしい。 ・生徒数減少により仕方がない。 ・生徒数が多い方が活気がある。 ・部活動の選択肢が少なかったり、人数が少なすぎたりといった問題がある。 ・保護者も生徒数が少なく、役員等何回も行わなくてはいけない。 ・全国どの地域でもあることである。すべてにおいて協力していきたい。 ・生徒たちの笑顔があふれる学校にしてほしい。 ・生徒にとってのメリットが多い。 ・地域への説明は大変だが、早急に進めてほしい。 ・富津中に負けない校舎にしてほしい。 ・設備を充実させてほしい。 ・市の財政を考えると1カ所にまとめた方がよい。
イ どちらかといえば賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な通学の手段が必要。 ・通学が困難になることは問題点である。 ・部活動の選択肢が多くなり、それぞれの個性を活かすことができる。 ・部活ごとの生徒数が多くなるのでよい。 ・設備を最新のものにしてほしい。
ウ どちらかといえば反対	
エ 反対	

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【佐貫小学校集計結果】

保護者の意見(回答数:29人/66人)



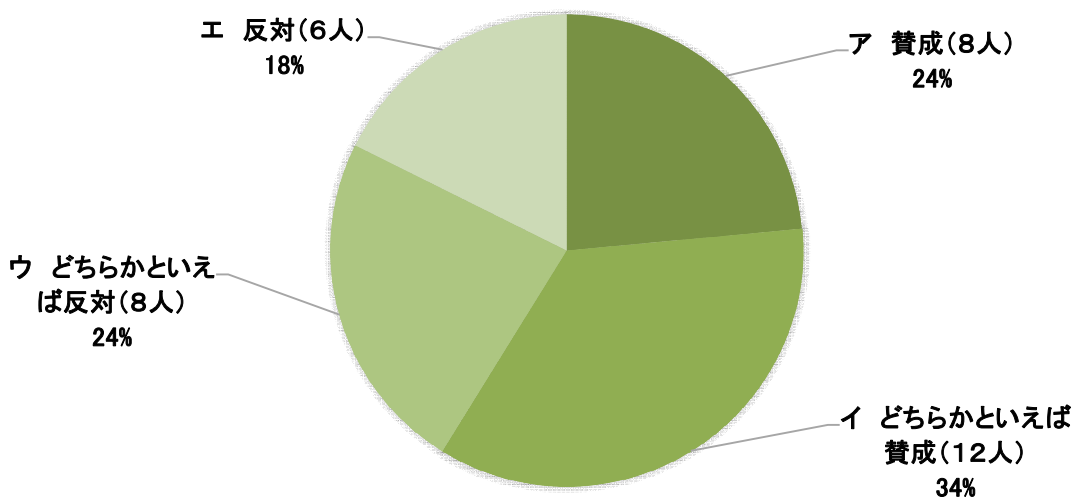
理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の再配置を計画案どおりに実行した場合、今後の中期的な財政上の効果額(修繕費・給与費等の減や通学に係る補助費等の増)を示してほしい。 ・子どもたちが安全に通学できる環境(バス通学や電車通学)の確保と保護者にかかる費用の上限等に配慮が必要。その不安が解消すれば前進すると思う。 ・現在の小学4・5年生が再配置の移行期に重なり佐貫中への進学を躊躇し他校へ進学することが考えられるが、これにより佐貫中の教育環境が損なわれないよう配慮と説明を求める。 ・賛成だが不安な点は通学方法・通学時間である。 ・環境が変わる子どもたちにも説明をしてほしい。 ・再配置、大賛成である。今すぐにでもやってもらいたいくらいである。 ・特に中学校は部活が多種になり、少しは選択の余地が出てきて良い。 ・昔からの伝統を重んじるOBの方々もいるとは思いますが、「今、現在」の子どもたちの学校おける、多様性・社会性・クラスを分けることによる友人関係など、様々な人たちとのかわりをもっと持ってほしい。 ・小学校のうちから、大貫小や吉野小との交流を多めにしてほしい。 ・子どもは多感な時期に、沢山の人に出会い、様々な体験をすることは大切だから賛成である。 ・中学校3年生は、受験期に統合することで、受験にどのような影響が出てくるか心配である。 ・少人数というのは子どもも保護者も一人あたりの負担が増え、厳しい状況にあるので賛成であるが、再配置により成績・人間関係が上手くいか心配である。 ・途中から合併となり加わる子どもたちが不利にならないように配慮をお願いしたい。 ・説明会で話が出た「1年生のうちから大貫中へ」と佐貫中に入学する子どもが少なくなるような事態は避けてほしい。

<p>イ どちらかといえば賛成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が多くなることは賛成だが、デメリットを考えてしまう。その場合どこまで学校側が対処するかが重要であると思う。 ・突然の知らせに驚いた。(もう少し先のことだと思っていたが、すぐのことで..) ・クラスメイトが増えることは良いことだが、佐貫の子どもたちが少ないため、いじめられたり嫌な思いをしないかと心配である。 ・遠くなるため、具合が悪くなり早退する場合などは、迎えに行かなければいけないのか、いけない場合はどうなるのか心配である。 ・人数が少ないため、修学旅行・校外学習のバスなど子どもたちがかわいそうだと思うことが度々あった。 ・クラス替えを経験させてあげたいが、少人数で良い経験(友人関係等の心配事が少なかった)・安心な面もあるので迷うこともある。 ・再配置は、佐貫中→大貫中ではなく、新しい中学校としてほしい。 ・デメリットを考えるより、コミュニケーション能力や切磋琢磨が期待できるメリットの方が良いと思う。 ・過去の事例をもとに慎重に交流を進め、不安(学習意欲・規律の低下等)を取り除けるような対策が大前提である。
<p>ウ どちらかといえば反対</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人数が減少していることを考えれば、仕方がないことと思うが、やはり歴史ある学校が廃校となるのは母校としても地域としても残念なことである。(校舎や武道場の今後は心配) ・部活動は地域合同チーム・練習試合や大会を空校舎等を利用し、少しでも地域を活用できたらと思う。 ・佐貫の子どもが地域からいなくなる不安がある。 ・学校をなくすことは地域社会の衰退に繋がり、人口減少を加速する可能性がある。 ・人口流出を止める市策を考えてほしい。(一度無くしてしまえば、もう戻ることはない) ・子どもの人数が少なくなり仕方ない。 ・4・5年生が大貫中学校へ入学するのであれば、ジャージの注文等から考えて、6年生も大貫中学校へ行った方がよいかと思う。4・5年生の佐貫中学校への入学が少なければ、行事などもできなくなると思う。4～6年生の中学校入学について、親子参加での話し合いの場を設けてほしい。 ・統合前の交流に賛成。小学校低学年から始めてほしい。子どもだけでなく保護者の交流も必要。
<p>エ 反対</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・切磋琢磨とは人数が少なくても、本人の気持ち次第である。 ・地域を活性化させ住民に未来の展望を示すことが政治の役目であり行政の仕事なのではないか。廃校ありきで容易に結論づけさせようとする姿が情けない。 ・大規模集団ではなく小規模集団ならではの得られる助け合いや相手を思いやる快感などが本当の意味での「切磋琢磨」ではないのか。 ・佐貫の少人数ながらの地域と密着した学校生活があってこそ、のびのびとやさしい子が育つのだと思っている。少人数でも内容の充実した教育を望みます。 ・他学校との交流は増やしても良いと思うので、互いの学校で交流する機会を作り、中学へ上がったときの不安を軽減してもらいたい。 ・富津市のハザードマップを見ても、佐貫・吉野に比べて大貫の方が危険度が高い。 ・大貫にはタクシーも無く、公共の交通手段も少なく学校の呼び出し等に対応が難しい。 ・スクールバスの時間、乗降場所等細かいことが分からない。 ・学校で具合が悪くなったときに迎えに行けない。 ・受験の年にその変化はすごく不利になる。トラブルがあってもカウンセラーの人に心を開いて話せるとは思えない。 ・修学旅行も合同でという案があるようだが楽しめるわけがない。 ・子供のためといいつつ、当事者の子供は迷惑している。子供のアンケートをとった方がいい。

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【佐貫中学校集計結果】

保護者の意見(回答数:34人/55人)



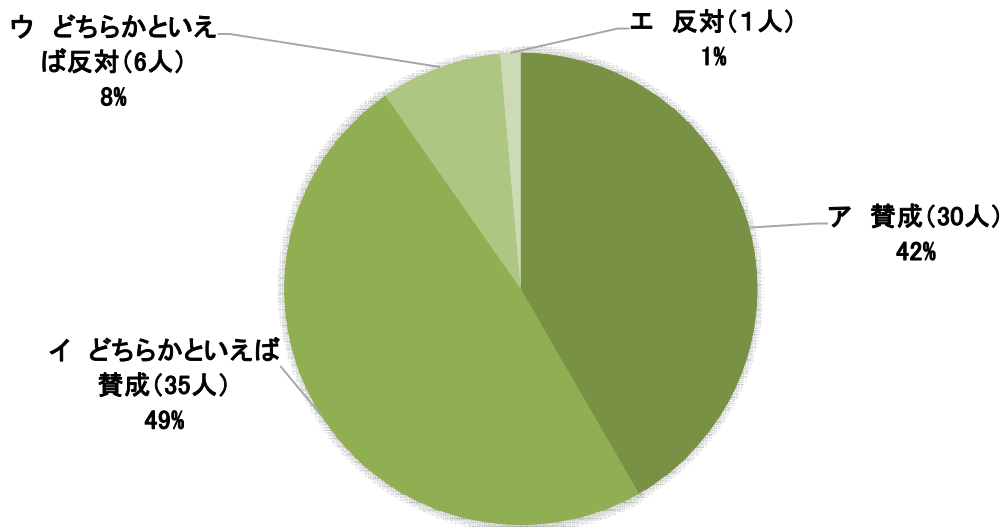
理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと早めに進めてほしかった。 ・30年4月から統合してほしい。 ・佐貫小中とも児童生徒数が少ないので多様な意見にふれることができない。再配置を強く希望します。 ・課題整理とその対応を検討し結果を保護者に提示すべき。 ・一部地域に偏った市政が更に偏ることのないよう教育委員会から発進してほしい。 ・新1年生で環境が変わるのは賛成。2. 3年生の間が変わるのは大変である。 ・部活動の少なさに不満があります。 ・子供たちの色々な選択肢が増えることはよい。 ・人数が増えることで、見えなくなる部分も出てくるのでフォローをしっかりして。
イ どちらかといえば賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ側の大貫中の施設・整備が必要。 ・武道場など富津中と新天羽中の差がありすぎ不平等。 ・部活動の精選を大貫中・佐貫中・教育委員会で協議する必要あり。 ・大貫中と佐貫中のPTA活動の差が懸念。 ・統合したら2. 3年生も3学級にしてほしい。特別措置をしてほしい。 ・スクールバスがないと学校に行けません。 ・佐貫中→大貫中ではなく新しい中学校としてスタートしてほしい。 ・土日の部活練習日もバスはでるのか。 ・部活もあり、朝はとても早く出て、帰りは真っ暗になるので心配です。 ・今の小5、小4の子供達が佐貫中に入った時点で部活動を統合して欲しい。 ・体育授業のみ今の小5が中1になったら合同にしてほしい。体育祭も合同で。 ・大佐和中学校にしてはどうか。 ・制服、ジャージも一新してほしい。 ・今の小5が小6になったら、部活動見学もスクールバスを出して大貫小と合同でやってほしい。

ウ どちらかといえば反対	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめられたり、いやな思いをしないか心配。 ・心配なのは、親だけ。子供は適応力もあるし、楽しみの方が大きいと思う。 ・学校までの距離が遠くなる。 ・一人一人に先生が目が行き届かなくなる。 ・中学校が廃校になると地域の若い世代が住むことがなくなり、人口減少が加速するのでは。廃校後中学校はどうするのか。災害時に利用できるようにしてほしい。 ・我が町・我が母校という気持ちで協力してくれる地域の人が減ってしまうのではないか。
エ 反対	<ul style="list-style-type: none"> ・市政の進め方に不信感がある。1月末から2月に説明が実施され、短時間で理解を得ようとする市政が全く見えない。 ・学校の主人公である児童生徒の心情や学力へ影響の議論が省略されてはならない。 ・小中一緒にする方法はないのでしょうか。 ・説明会に出て、佐貫中が吸収される感が強くていやな気持ちになった。 ・生徒会や各委員長など大貫が有利にならないよう話し合ってもらいたいです。

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【湊小学校集計結果】

保護者の意見(回答数:72人/118人)



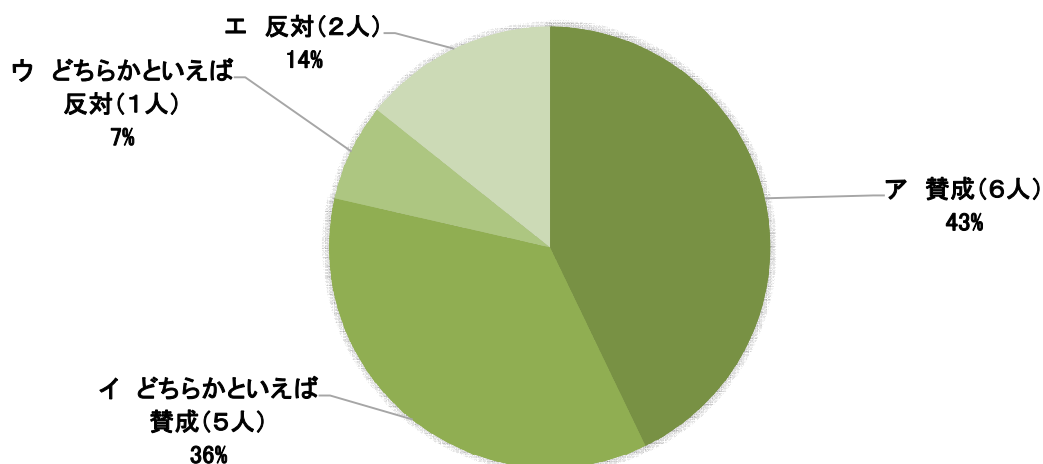
理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が増え、友人が増えることはいいと思うから。(2) ・人数が多い方が競い合いが生まれ、向上心、学力、学習意欲が高まるから。 ・32年から再配置とあるが、新校舎が出来た時点で利用させてほしい。(今春入学の子どもたちに、数ヶ月でも新校舎を利用させてほしい) ・今春入学の子から、天羽中・東中の部活統合をお願いしたい。(人数が足らずに廃部になるのは残念) ・校舎建て替えについて、事前の書面、案内等一切無しに口頭で説明するというのは乱暴ではないか。 ・説明会の保護者の反応で、この案が本当に将来の子どものためを考えているか再考してもらいたい。 ・今回の説明会での雰囲気は決して先進的ではなく衰廃的なイメージしか伝わってこなかった。 ・今回の案を遂行した場合、同様の問題が約10年後の統合された湊小学校にも起きてくることが予想される。 ・「子どもが減ったから、どこの学校を残して統合する」のではなく「未来のために既存のものを壊して、より良い学校を作る」という情熱を持って説明してもらいたかった。 ・小中一貫校を推奨する。

<p>イ どちらかといえば賛成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が少ないよりも多い方が良い。子どものうちから集団生活をさせ、学んでもらいたい。統合にあたり、先生方の資質能力も高めて頂きたい。 ・再配置に賛成だが、中学校の校舎を建て直す間、一緒の校舎はやめてもらいたい。 ・来年に決めていくとか、そういう問題ではない。考えるのは3年後くらいが良い。 ・子どもの数が減り、学習・スポーツ面、競い合うことも出来ず、学力・能力共に他の大人数の学校に比べると低いと思う。 ・人との関わりも含めると統合に賛成だが、安全面等気になるのでどちらとも言えない。 ・小学校がなくなった地区は、若い人が離れ、ますます子どもの数の減少が加速されるため、市にはその対策にも力を入れてほしい。 ・スクールバス導入時など、災害時の帰宅方法など色々な場面に対する想定をしっかりと行ってほしい。子どもたちの安全面をくまなく検討してもらいたい。 ・湊小の校舎は古く、特にトイレは汚れ・におい・洋式トイレの設置等、改修を検討してもらいたい。(2) ・目は行き届くが、クラス替え等も出来ないため子どもの逃げ場がないので、人数を増やしてほしい。 ・慣れるまでは大変だが、学校行事など、2クラスあったら競え合えるなど、いいことが増えそうである。 ・中学生は、各々の行動範囲も広くなり社会へと出て行くためにも再配置は良いと思う。 ・どちらかといえば再配置には賛成だが、このアンケートは意味があるものなのか。(もう既に決まっていることの説明のような気がする) ・この先の人生に影響の大きい高校受験がこの再配置にあたってしまうことが心配である。 ・小学生と中学生が同じ校舎で過ごすことは、部活動・精神面をはじめ色々な面で無理がある気がする。天中の敷地内に仮設の教室を建設するか、湊と天神山を先に統合、閉校した天神山小で中学生が学ぶなど、予算や大人や市又は教育委員会の事情ではなく子どもたちの成長期を最優先で考えてもらいたい。 ・説明会で出た想定外も含めて再検討していただきたい。
<p>ウ どちらかといえば反対</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り、地域と密着した小学校であってほしいと思うから。(負担が大きくなるようであれば致し方ないとは思いますが……) ・小学校は今の場所で良いと思う。 ・中学校は人気がなさ過ぎて閉鎖的な感じがする。

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【天神山小学校集計結果】

保護者の意見(回答数:14人/33人)

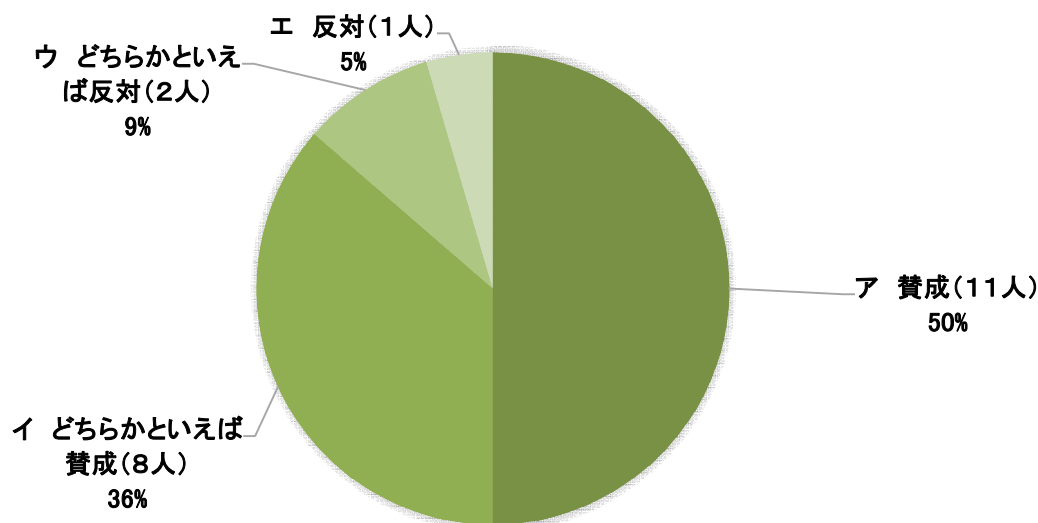


理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・子供も減れば、親も減ります。学校の役員も保護者が増えれば負担が少なくなる。 ・少人数の良いところは残せるように20人以上が良いかと思った。 ・多い人数で子供のうちから色々な人と接する経験をしてほしい。 ・人数が少ないと競争心があまりなく社会に出たときにとっても不安に思う時がある。 ・通学が大変になる子が多くなるため、スクールバス等の配慮が必要です。 ・天羽中の老朽化対策は必須です。
イ どちらかといえば賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・再配置後に目指す学校方針や特色は一般的になるのではなく、今までの特色をつかって欲しい。 ・たくさんのお友達が増えていいと思います。 ・1クラスの人数が少ないと行えることも限られてしまう。 ・再配置することで、新たなチャレンジ、競い合うチャンスも広がったり、小規模ではできなかった運動、行事などできるようになるのではないか。 ・環境が変わるので、学校で「いじめ」「なじめない」などの不登校にならないか。不審者・事故等、危険がなく安全に登下校はできるのかなど心配。丁寧な対応をお願いしたい。 ・やはりある程度の人数がいて同じ年の子供と成長していく姿は理想なのだと思います。 ・統合しても子供たちをよく見てくれる雰囲気や特色ある指導は残して欲しいです。
ウ どちらかといえば反対	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級を設置していただいたのに学級・学校がなくなってしまうのはどうかと思います。
エ 反対	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の再配置には、条件つきで考えても良いです。 ・中学の再配置は反対です。東中を立て直したばかりで、いくら教育とはいえ、もったいないことばかり、なぜ富津市はそうするのですか。 ・新しくして天羽中が廃校になった場合のことを頭に入れてありますか。市役所の考えは浅はかではないですか。 ・富津市にしかたなく住んでいますけど、今後君津に住む予定です。中学の再配置は絶対反対です。

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【竹岡小学校集計結果】

保護者の意見(回答数:22人/33人)

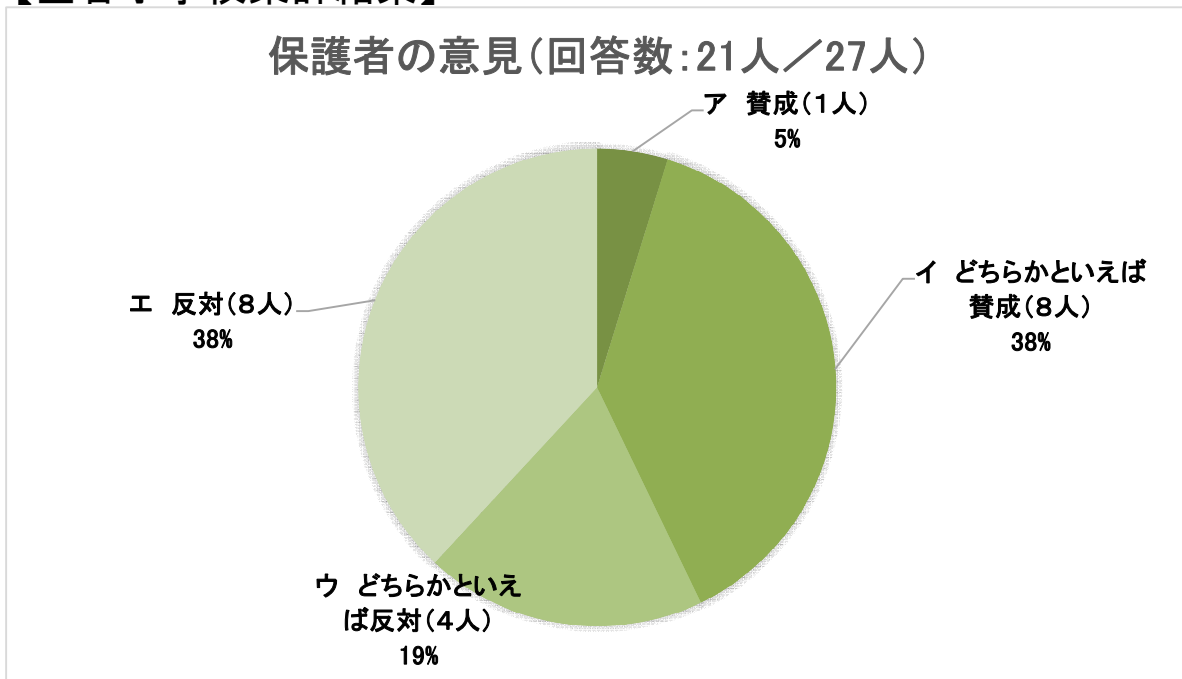


理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校までバスを出してほしい。交通手段には十分配慮して欲しい。登下校の安全は必ず確保して欲しい。 ・女子ミニバスケットをつくってほしい。 ・4歳の子供が入学するときに再配置していただくと非常に助かります。 ・少人数で学校生活を過ごすより、多人数で色々な友達や活動ができた方が子供たちにとって成長できるのかなと思います。 ・1学年数人、複式学級というのは少なすぎる。部活も文化部がないなど少なすぎる。 ・習い事の迎えもあると思う。スクールバスと迎えの車が重ならないように。 ・教育環境の充実を望みます。(施設・設備・備品など) ・天羽中のプールは大丈夫でしょうか。 ・南房総市や鋸南町の統廃合の課題や改善点を伺いたい。 ・天羽地区4校の学校名は天羽小学校を希望します。 ・保育園の統合は考えていないのか。 ・天羽中の部活動を減らさないでください。 ・スクールバス運行後の日東バスを残して欲しい。 ・中学校新校舎は、計画通りH32~を目指して欲しい。 ・スクールバスの要員がいた方がいい。 ・バスが何台になろうと時間が短く安全に考えて欲しい。 ・子供時代は、友達が多い方がいい。友達作りができる環境をつくってほしい。
イ どちらかといえば賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・通学方法など確認したいことがある。 ・公共交通機関も利用することがあるのか。中学生のように電車で通うのか。 ・地域の空洞化がより進むようで寂しい。 ・大人数でやる遊びやスポーツができる。

ウ どちらかといえば反対	<ul style="list-style-type: none"> ・急に30人以上での教室で勉強や集団行動についていけるのか心配です。 ・一人一人に先生の目が行き届く生活ができればいい。 ・金谷と竹岡、天神山と湊の2校の配置なら賛成です。 ・中学校の新校舎の工事中は、湊小に通学するとのことですが、電車やバスを利用する生徒と天高の生徒の通学時間等が同じでトラブルが起きることはないか心配。
エ 反対	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、富津市の市政を見直し、「住みたい富津市」「利便の良い富津市」を形成すべきではないでしょうか。 ・離れる人を止め、人を呼び込むことが最優先。再配置案は、人々の心を更に遠ざけてしまう一方です。

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【金谷小学校集計結果】

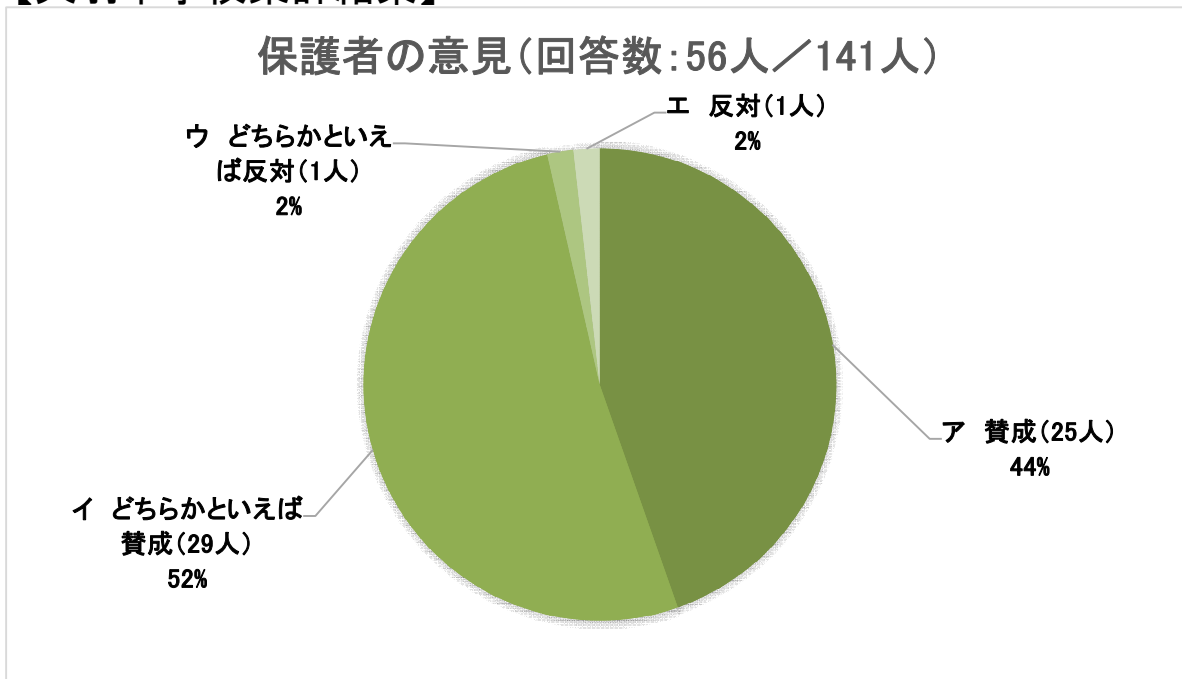


理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	
イ どちらかといえば賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が増えることはよい。 ・きめ細かなフォローは必要。 ・少子化が進み、早い段階で一緒に学習できることがよい。 ・登下校時の安全を考えてほしい。 ・学童クラブを設置してほしい。 ・細かい点まで時間をかけて決めてほしい。 ・仕方ない。 ・悪天候で電車やバスが止まる。 ・家族が仕事で送迎できない。 ・学力向上は担任の対応による。 ・いじめなどの問題に親身になってくれるか心配。 ・今後も丁寧な説明が必要。
ウ どちらかといえば反対	<ul style="list-style-type: none"> ・金谷小がなくなると子育てがしづらく、高齢化・過疎化が進む。 ・安全面が不安。 ・もう少し今のままで金谷小を続けてほしい。 ・スクールバスがあってもどうしても家庭の負担が増える。 ・登下校にどうしても自家用車を活用することになる。負担が大きい。 ・コミュニティが崩壊し連鎖的な負の部分の把握ができない。

エ 反対	<ul style="list-style-type: none"> ・病気や災害時の送迎はどうなるのか。(両親が共働きで、すぐに迎えに行けない。高齢の祖父母が迎えに行くことになる。事故や体調の悪化があった場合、富津市が責任を持って対応できるか。) ・健康な児童ばかりではない。(薬の管理が湊小ではできない。) ・中学校では湊まで通う。小学校で合併することはない。 ・金谷小では地域の方の協力の下、いろいろな体験を行っているので、それを継続したい。 ・少人数で経験させたい。 ・学校代表として金谷小では活躍でき、自信がつく。 ・子どもは少人数でも楽しく登校している。 ・小規模校は先生の目が行き届く。 ・小学校は歩いて通わせたい。湊は遠い。子どもへの負担になる。スクールバスでは乗り物酔いが心配。 ・せめて隣の学区との統合なら仕方ないが、いきなり4校統合は疑問。 ・学区が広すぎる。 ・自分の母校に行かせたいから金谷に住んでいるが、負担が増えるのなら、他市へ引っ越す。 ・中学校もバスで登校できるとよい。 ・小規模校のメリット・デメリットを比べても。デメリットが多過ぎると思わない。 ・近隣自治体に追随する必要はなく、富津市の独自路線を希望する。 ・保護者、地域の意見を聞いてほしい。 ・小学校がなくなると過疎化が進む。 ・大人数のメリットについては統合せずに交流会等に対応してほしい。 ・児童数が1桁になるまで金谷小を続けてほしい。 ・児童数を増やす取り組みを考えることはできないか。 ・学校が遠くなり、環境が変わることが心配。中学生になれば体力もついてくると思うので、小学生にとって遠くまで通うことに賛成できない。
------	--

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【天羽中学校集計結果】



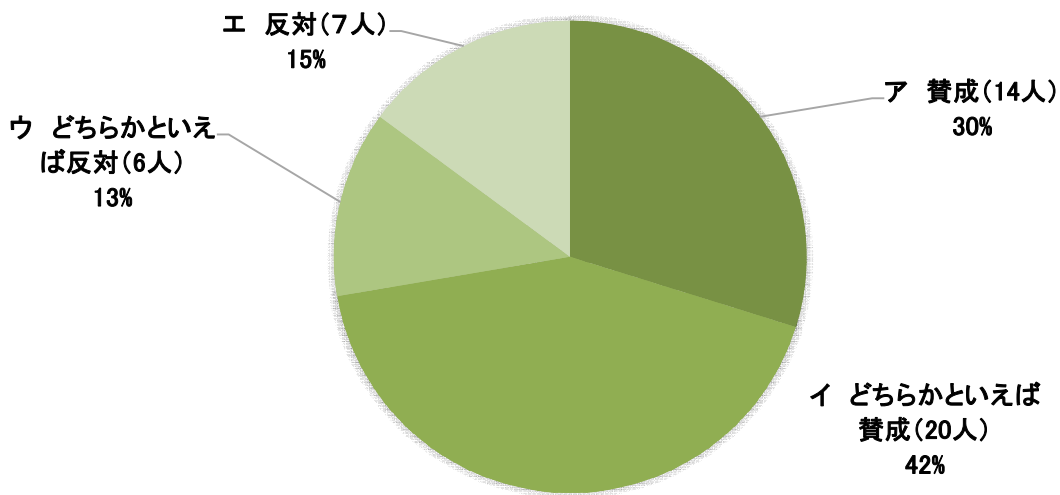
理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が多い方が楽しい。 ・複数の学級が望ましい。クラス替えを行いたい。 ・より大人数の集団の中で、切磋琢磨し、仲間とのつながりを深めていきたい。 ・学力・体力・人間力、それぞれの向上のため部活動を含めて、教育活動の活性化のため、統合は必要。 ・部活動に限りがあることは残念。部活動の維持がこのままでは難しい。部活動の選択肢が増える。 ・野球部は早めに合同練習を行い、チームとして活動をしてほしい。 ・全員選手になれるのなら練習も熱心に行わない。 ・交流を深めるために様々な活動をしてほしい。 ・たくさんの人と関わり、上には上がっていることを知ってほしい。 ・開かれた人間関係が築けるようになってほしい。 ・生徒数が少ないことは保護者の負担が大きい。 ・もっと早く説明してほしかった。 ・話し合いの場をつくってほしい。 ・富津中と同規模になるように4校が1校にまとめればよい。 ・学習については、やる子はやるし、やらない子はやらない。 ・いずれ環小も児童数が減少するので、湊小へ通わせたい。

<p>イ どちらかといえは賛成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・湊小で間借りする間、小中間の授業時間の差への対応はどうするか。 ・間借り期間の湊小学校へのスクールバスはあるか。 ・天羽中の校舎を半分ずつ壊すか、仮設教室により今まで通り天羽中で授業を行いたい。 ・校舎建て替えは安全のためによい。 ・生徒数が増えれば、1人1人の能力も伸びる。 ・いじめ等の対策として、1人1人のよさを認め指導を行い、カウンセリングを行ってほしい。 ・子どもたちのためになるようにしてほしい。 ・地区が広がるとPTA活動に消極的になるかもしれない。 ・統合には賛成だが、富津市を魅力的な町にして、人口を増やすことに力を入れるべき。 ・各部活動の終了時刻を合わせたい。 ・強風で電車が止まることが多いので、これを機にすべてスクールバスにしてほしい。 ・部活動の選択肢が増える。1つの部活動の人数が増える。 ・少人数では個人への負担が大きい。また、親の役員の負担も大きい。 ・少人数では行える行事に限られる。 ・親の送迎の負担が増えるのではないか。 ・授業の理解度の違いへの対応、生活面・対人面・登下校の際の見守りなど、対応してほしい。 ・生徒数が少ないので統合することはよい。 ・校舎建て替えの際の学校生活をどうするかについて問題が出てくると思う。 ・子どもが卒業する学校がなくなることは残念。しかし、生徒数減少によりやりたいことができないのであれば仕方ない。 ・校舎建て替えは不要。湊小での間借りは安易な考えで納得できない。 ・部活動について改善され、学級替えが行えることはよい。野球部・バスケット部・サッカー部は必須。 ・子どもたちの夢をつぶさないようにしてほしい。学校は子どもが主役。 ・再配置はやむを得ない。登校距離の負担などから、適切な場所に統合されたとみんなが思えるようにしてほしい。結果として統合が人口増加などにつながるとよい。 ・統合だけでは解決しない問題もあるので、これを機会に教育界全体を見直してほしい。 ・小中一貫校という考えはないか。 ・湊小の間借りでは部活動に支障がある。間借り期間中は東中学校へ部活動用スクールバスを運行してほしい。貴重な3年間を大人の都合で犠牲にしない。 ・湊小は中学生用に施設が整っていない。しっかりと受け入れ準備をしてほしい。
<p>ウ どちらかといえは反対</p>	
<p>エ 反対</p>	

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【環小学校集計結果】

保護者の意見(回答数:47人/64人)



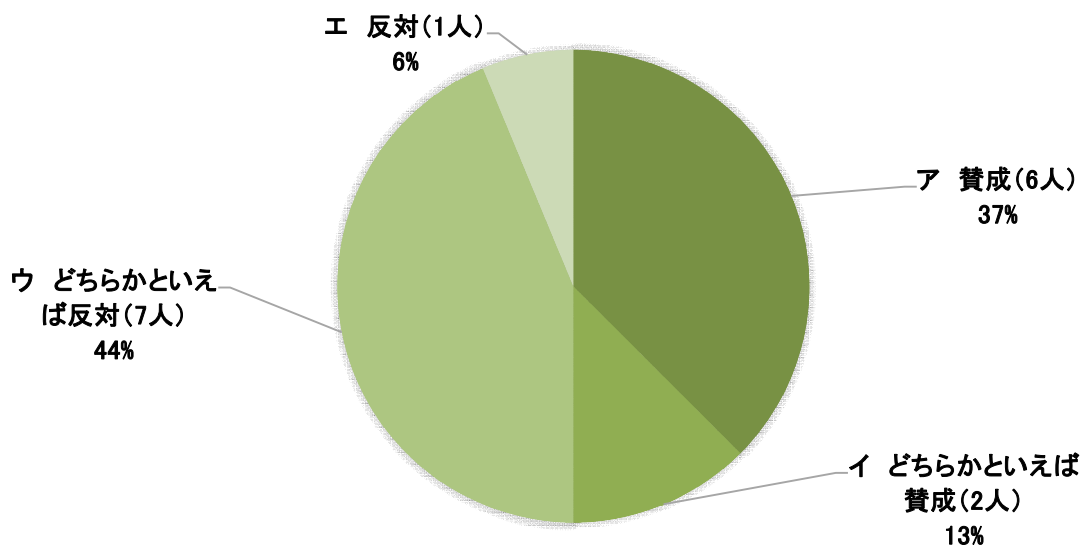
理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の不便さは、スクールバスでクリアできればよい ・部活動の活動の幅を広げられることを期待している。 ・天羽地区の統廃合に環小も入れた方がいい。 ・子どもたちが安全に通学できることが大前提。 ・今の中学校の環境がいいとは思えない。 ・極めて妥当な方向性だと思う。 ・教育行政のリーダーシップによって再配置が進むことが富津市にとってよいことだ。 ・細かいこと(バス・PTAなど)は、PTAを含めて決めていくとよい。 ・今のうちから交流を行って欲しい。 ・天羽中の建設で新校舎で我が子が学べることは有り難い。 ・環小も湊小に統合した方がよい。 ・越境通学希望の許可を緩くして欲しい。 ・やりたい部活を選んでほしいので早い時期の再配置を希望する。 ・天羽中の立て直しは反対。 ・少ない人数だと難しい面もある。 ・天羽中の狭い道を広げて安全に通学できるようにしてほしい。 ・駅の近いところで、市内中の子どもが通える学校を建ててほしい。 ・企業誘致を積極的に行って若い世帯を増やしてほしい。

イ どちらかといえば賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・環小だけ残すのは検討が必要だと思う。 ・制服・体操服・部活のユニフォームの買い替えがないようにしてほしい。 ・環小単独より、湊小と他3校と一緒にしてほしい。中学で一緒になるのだから。 ・多くの人とコミュニケーションを取る経験を早いうちからやった方がいい。 ・多くの友達と交流できるように。 ・人口が増える手段を考えて。 ・他県での統合のメリット・デメリットや保護者の意見や問題に対する対策を教えてください。 ・湊小のあたりに、保育所・小学校・中学校をおさめてはどうか。 ・統合学校名は新しい校名にしてほしい。 ・天中に東中が入るイメージですが、新しい学校として一緒にスタートしてほしい。 ・少人数では、経験に制約がある。 ・地域に学校がなくなるのは寂しい。 ・保護者同士がうまくいかない不安がある。 ・今、学校で部活も限られた種目しかない。
ウ どちらかといえば反対	<ul style="list-style-type: none"> ・わざわざ高額をかけ新校舎を建てるのではなくもっと安い場所を考えてほしい。 ・受験の時に環境が変化するのは、不安がある。通学面も心配。 ・統廃合した時の子どものことを理解していない。 ・生徒の気持ちや人間関係を考えて計画してほしい。 ・中1から天羽中に行ってしまいたい。個人的にであっても受けてもらいたい。 ・入学と同時に天中に通えるように緩くしてもらいたい。
エ 反対	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の不安を感じる。あまり無理のない登下校の手段を考えてほしい。 ・事件、事故の可能性が強まると思う。親にとって心配。 ・地元に学校がなくなったら、静かで活気のない地区になってしまう。 ・人数が多くなると、子どもの成績が下がり、やる気がなくなってしまう。 ・母校がなくなるのはつらい。 ・学校は近い方がいい。 ・今は、田舎の少人数で育つのも悪くない。 ・天中の場所に建て替えるのは反対。 ・教育委員会での話し合った議事録を見せて欲しいが、話しが見えなすぎて不安。 ・中学生の統合は、小学生より思春期なので不安。 ・再配置後の子どもたちの様子を細かく知りたい。(学校だより等) ・もっと質問に対応した説明をしてもらいたい。 ・天中の評判が悪くて心配。 ・天中への道が悪い。 ・富津中はドームと開閉型の体育館になった。もちろん同じものを建てるのでしよう。 ・スクールバスの定員は？時間は？地域の人を乗せると狭くなるのでは？ ・統合前の合同授業は、前年度しかしないのか。もっと数年掛けてやってほしい。 ・入学から新しい中学校でもいいのでは。 ・急な話で不安。お金の無駄遣い。話しをまとめてから進むべき。

富津市小中学校再配置に関するアンケート
【天羽東中学校集計結果】

保護者の意見(回答数:16人/41人)



理由・意見

回答	理由・意見
ア 賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・統合に賛成だから。 ・今の時代、子どもが少なくなり学校の在り方や統合など考えなければいけないときにきているかもしれない。大いに賛成である。 ・中学校で全校生徒100名以下では各種活動に制限がかかるので、統合は早期にすべきである。
イ どちらかといえば賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・再配置には賛成であるが、天羽中学校の建て直しに関しては大反対である。財政が厳しい中、立て直す必要があるのか非常に疑問である。
ウ どちらかといえば反対	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものことをもう少し考えて計画してほしい。 ・統合して生徒数が増えることはメリットがあると思いますが、指導に関して言えばその分一人に対して先生からの目が届かなくなるのではという心配がある。 ・学区が広くなることにより通学などにも不安がある。 ・地域の交流・ふれあい(老人たちの行動できる身近な場所)はどうなるのか。 ・PTA同士も顔見知りが多くまとまりやすい。 ・小規模校と大規模校では、学校の指導内容はもとより、保護者の考え方、子どもたちの気質も大きく違う。 ・統合をするなら3年間学校・児童・生徒の交流を充分に持って統合してもらいたい。 ・天羽地区の保護者に意見を聞かずにここまで話をすすめるのは市民をバカにしていると思う。 ・環小だけ後で合併になるのも子どもたちのことを考えていない。子ども・保護者の気持ちになって考えてほしい。 ・財政難なのに校舎を建て替える発想も理解不可能である。 ・一度市長と天羽地区保護者の話し合いの場を設けてから、こちらの要望をきくべきなのではないか。 ・今までの子ども親たちも代々この学校で入学し卒業している。なくなってほしくない。
エ 反対	

この Q&A は、平成 29 年 1 月 10 日（火）から 2 月 10 日（金）に各学校 PTA 役員、保護者、各地区の方に説明会を行いました。そこでいただいた意見・要望についての回答をまとめたものです。

1. 再配置計画について

Q1：決定事項なのか。また、小中同時進行なのか。

A1：平成 32 年には、小学校では学年 0 人の学校や、1 学級 3～4 人の極めて少ない学校が見られることから、速やかに複式学級を解消していくことが必要であると考えます。また、中学校では、9 年間クラス替えがないことや、部活動の選択肢が限られていることなどから、本計画により平成 32 年を目安に小中学校同時進行で、再配置を進めていきたいと考えています。

Q2：4 月から、再配置に向けて動くのは期間が短いのでは。

A2：保護者・地域の方からのご意見から判断して、再度、保護者・地域住民の方々に説明を行っていき、理解を深めていきたいと考えています。その後、各学校の個別の再配置計画を策定し、3 年間かけて準備をしていく予定です。

Q3：再配置計画の検討はいつから行っているのか。

A3：平成 21 年度作成の再配置構想により、小中学校の再配置を検討してきました。今回の再配置計画（案）については、平成 28 年より検討してきました。

Q4：今回のような説明会は、今後もあるのか。

A4：ご質問についての Q&A を公表し、再度、説明会を行います。

Q5：複式学級の基準を見直せないのか。また、財政面でのメリットがあるのか。

A5：複式学級の基準は文部科学省が定めております。財政面のメリット、デメリットについては Q10 をご覧ください。

Q6：基本計画の 2 ページの生徒数の推移はいつまでを想定しているのか。

A6：現在の 0 歳児が小学校に入学する平成 34 年度までを想定しています。

Q7：アンケートの賛成・反対の結果で多数決をするのか。

A7：どういう考えの方がどの位いるのかを参考にしていきます。

Q8：アンケートの意見・要望は受け取ってもらえるのか。

A8：ご意見・要望については、市教委の考えを提示・公表してまいります。

Q9：計画（案）13 ページの登下校の安全確保とは、具体的にどのようなことか。

A9：統合に伴い遠距離通学になった場合は、スクールバスで対応をしていきます。バスの運行委託先と協力し危機管理マニュアルを作成し、災害時の対応を含め安全確保に努めていきます。

Q10：学校の維持コストはどれくらいなのか。削減された予算は教育に優先的に使われるのか。また経費はどれくらい違うのか。

A10：学校の規模によって異なりますが、1校あたり、約1,300万円前後です。スクールバスの運行等について、優先的に予算を確保していきたいと思えます。スクールバスの運行等で経費がかかりますが、1校あたり300万～400万軽減となります。

Q11：小中一貫校という考えはないのか。

A11：富津市の状況の中では、小中連携は必要だと思えますが、小・中が独自に教育活動を行うことが望ましいと考えています。仮に小中一貫校にする場合は、新たな建設用地の選定から用地取得、校舎、体育館、武道場、技術棟などの建築から道路整備まで、長い年月と膨大な費用がかかることから、本計画（案）としました。

Q12：最終にやるかやらないのかの判断はどう決めるのか。また、決定はどこですのか。

A12：保護者、地域の方の意見、アンケートを参考にして（案）を外していきたいと考えています。決定は、教育委員会議で行います。

Q13：議会に諮っていくのか。

A13：議会にも説明していきます。

Q14：統合の事前準備とは具体的には何か。また子どもたちに不安など出ると思うが、ケアはどうするのか。

A14：事前準備とは、学校間で協議し学習進度や学年を踏まえ、交流授業や合同行事の実施、互いの学校の行事に参加するなどを計画的に行って行くことです。

また、不安を抱える児童・生徒の心のケアについては、スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施するとともに、統合前から、交流学習等を計画的に実施していくことで不安の解消に努めたり、各学校で教育相談を充実させ丁寧に子どもたちへ対応していきます。

Q15：学校間交流は統合前年だけか。

A15：平成30, 31年度に行っていきます。

Q16：望ましい学級数（P5）の根拠は。

A16：文部科学省が示したものです。

Q17 : 35 人学級の報道があったが、1 学級の人数が少なくなっている。なぜなのか。

A17 : 低学年は 40 人を 1 人の学級担任で見るのは厳しいと文科省は考えているためと思われます。

Q18 : 文科省は少ない人数の方が教育しやすいと考えているのか。

A18 : 文部科学省から出ている「公立小学校・中学校の適正規模、適正配置に関する手引き」に示してあるように、一定の規模が必要と考えています。

Q19 : 中学校は人数が多く、小学校は人数が少ない方がよいのでは。

A19 : 場面によって人数が変えられるのがよいと考えます。個に応じたものに対応する場合は少人数、グループ学習や行事などの活動や話し合いの場面では、ある程度の人数が必要です。教師対子どもだけでなく、子ども同士で課題を解決していくことも大切であると考えます。

Q20 : 統合した小学校の児童に悩みはないのか。

A20 : 全くないということはありません。交流学习を事前に計画的に行い、不安を解消できるようにしていきたいと考えています。また、統合前から教職員間で児童の情報を共有するなど、統合後もきめ細かな対応をしていきます。

Q21 : 全体のパーセントではなく、保護者の意見をよく聞いてほしい。

A21 : 全体の中の総論として賛成、反対ということは考えていません。保護者の意向については、個々の学校別及び全体を参考にします。また、保護者の意見を吸い上げていきます。

Q22 : 子どもたちにアンケートを行うのか。

A22 : 義務教育なので、保護者の方に意見を伺っていきます。

Q23 : 事前に、保護者の意見を聞くべきでは。

A23 : 教育委員会の適正な規模についての教育条件整備の考えを示した上で、交通手段等の要望を伺いたいと思います。

Q24 : パブリックコメントはとらないのか。

A24 : 保護者・地域の方に直に伺って意見に対する回答を行う方法で対応しています。

Q25 : 文科省が適正規模とする学級数と富津市が必要とする学級数が違うがなぜか。

A25 : 文科省が示しているのは目安であり、本市では地域の実情や通学距離などを考慮し、小学校は複式学級の解消を図るため学年 1 学級、中学校はクラス替えができる学年 2 学級としました。

Q26：個別の再配置計画（各学校ごとの計画）はいつ出るのか。

A26：本計画（案）から（案）が外れ計画となった後、早めに提示していきたいと思えます。

Q27：再配置のための検討組織について

A27：再配置のための検討組織については、小学校・中学校保護者代表の方を含め組織していきます。また、検討委員会の年間予定ですが、できるだけ早い段階で提示していきたいと思えます。

Q28：中学生に説明会を行ったのか。

A28：義務教育は子どもに教育を受けさせる義務は保護者が負うことになっているため、保護者の方の考えを優先に考え保護者説明会を開催しました。

Q29：子どもたちにも早く知らせてほしい。

A29：事前に交流学习を行うときに、目的を明らかにしながら進めていきます。

Q30：統合や合併などいろいろな言葉が出てくるが、吸収されてしまうのか。

A30：統合という考えで進めていきます。具体的なことについては、個別の計画を立てたうえで協議していきます。

Q31：地域にはアンケートはないのか。

A31：保護者にアンケートを実施していますので、地域のアンケート調査は行わない予定です。

Q32：保護者のアンケート結果は公表するのか。公表するのであればまとめてではなく、学校別に公表してほしい。

A32：アンケート結果については、学校別とまとめたもの両方を公表していきます。

Q33：P14のウに保護者、地域の合意とあるが。

A33：個別の計画については、保護者・地域の方の意見を伺いながら、教育委員会で決定してまいります。

Q34：中学校同士の統合の事例はあるか。

A34：富津中学校、天羽中学校、天羽東中学校は、過去に統合を実施しました。近隣では、南房総市や鴨川市で行われました。

Q35：天羽東中や湊小など、今ある校舎を使うことはできないのか。

A35：天羽中学校建築中の生徒の活動場所については、いくつかの案を検討しました。

①案：天羽中学校にプレハブを建築する。

②案：天羽東中学校へ移動する。

- ③案：湊小学校へ移動する。
- ④案：佐貫中学校へ移動する。
- ⑤案：天羽高校へ移動する。
- ⑥案：新築・移転する。

など、複数案を検討しました。

①案については、プレハブを建築した場合、校舎解体・建築による騒音等で落ち着いた学習環境が保証できないこと。また、グラウンドの使用できる場所が 1/2～1/3 程度になってしまうこと。

②、④案については、現在の校舎では教室数が不足していること。金谷地区の生徒の登下校が遠距離になり、負担になること。

⑤案については、高校生と同じ校舎で過ごすことで、諸問題に対する不安があること。職員室になる教室への工事や給食配送車の搬出入口、配膳室、保冷庫などの施設の整備が必要であり、天羽中へ戻るときには現状復帰が必要であること。県教育委員会との協議の中で、許可が出ない場合があること。

⑥案については、建設候補地の選定から用地取得、校舎・体育館・武道場、技術棟などの建設から道路整備まで、膨大な費用や長い年月がかかること。

などから、③案がよいと判断しました。

児童生徒の学習や教育活動に支障が出ないように、小学校と中学校が連携を強固にして取り組んでまいります。

Q36：市内に中学校は2校でよい。浅間山にもっと大きな学校を作る計画はないのか。

A36：現時の施設・設備や、学区の広さ・交通事情を考えると、現状では本計画でよいと考えています。

Q37：統合した場合でも、天羽中の生徒は今後も減少していくことが考えられる。その場合、また統合を計画するのか。

A37：富津市は学区が大変広く、人数だけで考えるのではなく、通学時間、交通手段なども考慮していきます。中学校については、富津地区、大佐和地区、天羽地区にそれぞれ1校と考えています。

Q38：大貫小、吉野小や佐貫小の統合計画はあるのか。

A38：現在の所はありません。今後の児童数の推移によっては、検討していくことになると思います。

Q39：学校名などは、大貫中、佐貫中の伝統も考え、よい方向で考えてほしい。

A39：今後、個別の再配置計画を作成し、その中で、保護者、地域の皆様と検討していきたいと考えます。

Q40：佐貫中の生徒は統合した場合、大貫中学校に通学しなければいけないのか。

A40：統合した学区で考えています。保護者や本人の都合等で天羽中へ通学することも可能ですが、従来の学区外通学と同様となります。

Q41：佐貫中が天羽中と一緒になるということはないのか。

A41：大貫中との再配置を計画しています。

Q42：佐貫を小中一貫校にはできないのか。

A42：現状の人数では、子ども達は9年間同じクラスで過ごすことになってしまい、「中学校のクラス替え」という基準を満たさないので、小中一貫校の計画はありません。

Q43：環小が湊小へ行く計画はないのか。

A43：環小学校については現在計画には入っていません。しかし、今後保護者の方の意向を伺い、検討していきたいと思えます。

Q44：環小の今後の児童数の推移は把握しているか。

A44：把握はしていますが、登録住民と居住実態の違いを考慮し、実数を把握していきま

す。

2. 教育活動について

Q45：平成32年4月に突然一緒になるのか。

A45：小学校、中学校ともに、統合する前から、お互いの学校を行き来するなどして、交流学習や部活動の交流などを計画的に行い、人間関係を深め、不安を解消していきたいと思えます。

また、平成32年の中学校3年生につきましては、受験に備え、1、2年生の時からお互いの学校間で成績の調整を行い、スムーズに3年生を迎えられるよう学校に依頼をしていきます。

中学校の制服やジャージについては、保護者の方の負担にならないよう、早めに提示していきたいと思えます。

Q46：規模が小さい方が、学力が高いのでは。

A46：現在、富津市の小規模校では、個に応じたきめ細やかな指導をしています。一方、一定程度の規模を有する学校では、少人数学習や複数の教員で指導に当たるなど、指導方法を工夫しております。

千葉県標準学力検査の結果を見ますと、大規模校、小規模校での結果に大きな差異はございません。

Q47：自己肯定感を高めるには、規模が小さい方がよいのでは。

A47：市内小学校の全国学力学習状況調査の結果を見ますと、学校規模の大小により、自己肯定感の感じ方に大きな差異はありません。

Q48：少人数ではよい学びができないのか。また、切磋琢磨できないのか。

A48：学習は少人数で行う方が、効果は大きい場面があります。一方、生活体験や人間関係づくりは一定規模の集団で行われる方が、より効果が大きいと考えます。また、人数が増えることによって、より切磋琢磨できると考えます。

Q49：大きい学校は顔を知らない、まとまりがないと聞かす。

A49：1,000人規模の大規模学校を作るわけではなく、統合後の学校がお互いの顔を知らない、まとまりがない学校となることはありません。

Q50：統合前の学校の先生は異動してきてくれるのか。

A50：子供達の様子を理解している前任校の教員もできるだけ配置できるよう努めます。

Q51：制服、ジャージなどは、統合した際に買い換えるのか。

A51：買い替えによる保護者の方の負担にならないよう、個別の再配置計画で検討していきます、早めに提示していきたいと思ひます。

Q52：子どもたちの心のケアはどのようにしていくのか。

A52：統合等により、不安を抱える児童・生徒の心のケアについては、スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施していきます。また、統合前から、交流学习等を計画的に実施していくことで不安の解消に努めるとともに、各学校で教職員の連携を密にする、教育相談を充実させるなど丁寧に子どもたちへ対応していきます。

Q53：H31年から、小学校にスクールカウンセラーを配置してほしい。

A53：スクールカウンセラーは県教育委員会が各中学校に配置しています。中学校のスクールカウンセラーを必要に応じて、小学校に派遣していきます。

Q54：大貫中と佐貫中の学力の差はあるのか。

A54：教科や学年によって違いはありますが、大きな差異はありません。

3. 施設・設備について

Q55：市内の小中学校の改修は行うのか。

A55：現在「富津市学校施設整備基本計画」を作成しています。今後整備計画により、順次改修をしていきたいと考えています。

Q56：今の湊小の場所に、小中一貫校は作れないのか。

A56：現在の湊小の場所に小中一貫校の校舎を建てるとなると、敷地が狭く不可能と考えます。

Q57：湊小の校舎を建て替える予定はあるのか。

A57：湊小はトイレの改修を予定しています。湊小も含め、市内の小中学校の状態を確認し、優先順位をつけて学校施設の整備を行っていく予定です。

Q58：湊小周辺の道路整備は行うのか。

A58：湊小学校周辺の道路については、道路整備の計画は現在のところありません。今後要望等があった箇所については、検討していきたいと考えています。

Q59：天羽中の新校舎、道路整備、建設場所等について。

A59：天羽中は建築から48年経過しており、校舎が老朽化しています。平成21年に行った耐震補強工事は、生徒の安全・安心を最優先するために実施しました。校舎の建築については、長期的スパンで計画しており、老朽化している校舎の建て替えとして計画しています。

また、建築する場所ですが、現在の場所に建築する予定です。体育館、武道場は現在のものを使用していきます。建築に伴う周辺道路の整備も検討しております。

Q60：天羽中の校舎建築はいつから工事開始か。

A60：平成30年度から開始予定です。

Q61：校舎建築の費用は。

A61：どのような校舎にするかによって費用が変わってきますが、概算で15億円程度と試算しています。文部科学省の補助金を活用していきたいと考えています。

今後、学校、保護者、地域の方を含めた検討委員会でどのような校舎にしていくのか検討していきます。

Q62：校舎建築に反対が多ければ、建て替えは中止するのか。

A62：天羽中校舎はかなり老朽化しており、建て替えが必要です。

Q63：業者入札で、予算が合わなければ建設できないのでは。

A63：現段階で経費は確定していませんが、資金不足で建設できないということはありません。

Q64：統合するにあたり大貫中は、改修するのか。また、武道場を建設するのか。

A64：大貫中は今年度（平成28年度）に校舎屋根の防水工事を実施しており、今後大きな改修をする予定はありません。また、武道場を建設する予定はありません。

Q65：社会体育館はどうなるのか。また、中央公民館も老朽化しているが。

A65：社会体育館は、平成31年に解体予定です。中央公民館は耐震性については基準を満たしています。公民館の在り方については、今後検討していきます。

Q66：大貫中の耐震は大丈夫なのか。

A66：大貫中学校の校舎は昭和61年に建築されており、新耐震基準を満たしています。

4. 校舎建築中の天羽中学校生徒の活動について

Q67 校舎建築の期間、天羽中学校の生徒はどうするのか。

A67：湊小学校の空き教室を活用して、学校生活を送ります。授業時間小学校45分、中学校50分の違いや、休み時間のグラウンドの使い方、部活動の活動場所等については、湊小学校の体育館やグラウンド、天羽中学校の体育館、武道場、グラウンドの一部を計画的に活用できるよう今後検討していきたいと思えます。

Q68：湊小を卒業した子どもがそのまま湊小に残るといことなのか。

A68：現在、その計画で検討中です。

Q69：校舎建築の期間、天羽中の生徒が湊小で一緒に生活をするが、いじめ等の心配はないのか。

A69：いじめについては各学校と連携して対応しています。小中学校が連携を強くし、いじめが起らない様な体制を強化していきたいと考えています。

また、小中学校が交流する機会を意図的に設定し、お兄さん、お姉さんの自覚を持たせるなどの活動も推進していきます。

Q70：小中学生が同じ校舎で過ごすのか。

A70：同じ校舎で過ごすことで検討しています。小学生、中学生が過ごすエリアを分けるなど、お互い負担にならないよう工夫をしていきます。

Q71：休み時間に小中学生が同じグラウンドで過ごすときが等が心配されないか。

A71：教育課程等を工夫していく中で配慮していきます。

Q72：土・日は湊小のグラウンドは少年野球等で使用しているが、部活動の対応は。

A72：土・日や夏休み等は天羽中学校のグラウンドや体育館を使用していきます。

Q73：部活動で使う道具はその都度運んでいくのか。

A73：生徒の負担にならないよう配慮していきます。

Q74：湊小の施設・設備では中学生は使いづらいのでは。

A74：トイレは中学生が使えるように改修していく予定です。教室は中学生の1クラスの人数には対応できる広さであり、机、いすについては、中学校のものを使用していきます。

Q75：湊小で中学生と小学生と一緒に過ごすことは心配である。天神山小に中学生を入れるとよいのでは。

A75：天神山小では、教室数が不足しており、中学生が入ることができません。また、技術室がないため授業に支障が出ることや、職員室にも職員が入りきらないため不可能と判断しました。

Q76：部活動で天羽中に移動するときはどうするのか。また工事車両等が通行し危ないのでは。

A76：部活動での移動は、徒歩やランニング、スクールバスを活用しての移動も含めて学校と検討していきます。生徒の移動時間帯は、工事計画の中で車両の通行に制限をかけていくなど、安全確保に努めます。

Q77：天羽中に移動していたら、部活動の時間がなくなるのでは。

A77：中学校と協議し、個別の計画の中で示していきます。

Q78：小学校から中学校へ移動していくときに、事故があった場合の対応は。

A78：スポーツ振興センターの保険を適用し、対応していきます。

Q79：中学の入学式はどこでやるのか。

A79：湊小学校体育館や市民会館等での実施を検討していきます。

Q80：中間・期末テストの時も小学生がいるが、うるさくないのか。

A80：教室配置を3階が中学生、1、2階を小学生にするなど配慮していきます。

Q81：階段で中学生と小学生がぶつかると危ないが、使い方などはどうするのか。昇降口は小中学生同じなのか。

A81：階段使用のルールなどは、今後学校と相談して決めていきたいと思います。昇降口は、低学年は教室前、高学年と中学生は共用になります。

Q82：中学校の体育祭は、小学校では狭いのでは。

A82：天羽中グラウンド、天羽高校グラウンド、陸上競技場など中学校とよりよい開催場所を協議していきたいと思います。

Q83：小中学校の登校時間はどうするのか。また、小学校の登校時間が遅れると、下校時間も遅くなるのでは。

A83：子供達の学習時間を確保しながら、登下校時刻を決定していきます。

Q84：下校時間は小中学校で違うのか。いじめにあったりけんかになったりするのではないか。

A84：通常、下校時間は違います。同時間帯になるときは職員がパトロール等を行い、安全安心な登下校に努めていきます。また、行事や日常から小中学生の交流を図り、人間関係を築いていきたいと考えます。

Q85：駐輪場はできるのか。また、自転車が倒れたりして危ないのでは。

A85：事故等に配慮して場所を検討し、確保していきます。また、子どもたちへの安全指導、ルール作りも行っていきます。

Q86：湊小で小中学生と一緒に生活するのは、他にモデルがあるのか。

A86：県内では、中郷小中学校が行っています。

Q87：湊小で生活すると、学校までの距離が短くなるが、今のまま自転車通学ができるのか。

A87：自転車通学については、そのままの対応ができるよう学校と協議していきます。

Q88：湊小へ、中学生が登校すると人数が増え、同じ時間帯に登校させると危ないのでは。保育園の送迎とも重なるので、信号機の場所等動かしてほしい。

A88：通学路の安全対策として、警察、市・県の道路管理者などで協議して検討していきます。

Q89：現在、天羽中の生徒は JR や日東バスを利用している。湊小での2年間はどうか。

A89：現行通りの登下校を考えています。

Q90：上総湊駅から湊小まで歩くのか。2年間はスクールバスの利用はできないのか。

A90：現在のところ、駅から湊小までは1.4kmなので徒歩での登下校を考えています。

5. スクールバスについて

Q91：スクールバスは運行するのか等の質問。

A91：竹岡小、金谷小、天神山小の相川、不入斗方面の児童、佐貫中、天羽東中の生徒については、スクールバスの運行を予定しています。また、スクールバスは無料です。

スクールバスの運行に伴い、現在、公共交通機関で通学している天羽中の生徒もスクールバスの利用となります。土・日や夏休みの部活動にも、スクールバスで対応していきたいと思えます。具体的なバスの運行時間、本数、停車場所については、今後保護者の皆様と協議し、決定していきたいと考えています。

Q92：スクールバスはお金がかかるのか。また、現在、定期代を補助している天羽中の生徒はどうなるのか。

A92：スクールバスは無料です。現在、公共交通機関で通学している天羽中の生徒もスクールバスの利用となります。

Q93：スクールバス運行中の災害等への対策はどうするのか。

A93：バスの運行会社と協力し、スクールバス運行中の避難経路や避難場所などを示した危機管理マニュアルを作成し、安全・安心の確保に努めていきます。

Q94：スクールバスは小中学生両方が利用できるのか。

A94：小中学生共に利用できます。

Q95：公共交通機関があってもスクールバスは運行するのか。

A95：再配置をした場合、スクールバスを運行していきます。

Q96：文部科学省の手引きでは、「通学時間はおおむね1時間以内」と説明があったが、これは小中学生共になのか。

A96：小中学生共に「通学時間はおおむね1時間以内」となっています。

Q97：低学年と高学年でバスの時間が違うと、低学年の子どもが先に一人で帰ってきて心配である。

A97：学校で兄弟を待つなど柔軟に対応していきます。

Q98：雨天時はバス、晴天時は自転車で通学してもよいのか。

A98：柔軟に対応していきたいと考えています。

Q99：学童保育の送り迎えや塾などの送迎もスクールバスが使えるのか。

A99：学童保育については、保護者の方が仕事が終わった後に迎えに行き、確実に保護者の方に引き渡すことになっています。また、スクールバスは児童・生徒の登下校の安全・安心を確保するために、最優先するものです。学童・塾の送迎については、保護者対応と考えています。

Q100：バスの関係は、日東交通と決まっているようだが、業者の検討はしているのか。

A100：日東交通で決定しているものではありません。今後、地元業者を含めスクールバス

の運行等実績のある複数の業者からの入札によって決定する予定です。

Q101：大貫小学校前の道路にスクールバスは入れるのか。

A101：現在、大貫小学校・大貫中学校共に大型観光バスが入り校外学習等に対応しています。スクールバスの通行に支障はないと考えます。児童・生徒の通学時は、学校と協力し安全指導を行うなど、安全・安心の確保に努めていきます。

Q102：通学路の危険箇所への対応は。

A102：各学校で通学路を点検し、危険箇所を教育委員会に報告しています。その報告をもとに「富津市通学路安全対策協議会」において、警察、国・県の道路管理者、及び市役所担当部署、教育委員会で合同安全点検を行い対策を講じています。

Q103：グリーンベルトの安全性は。

A103：グリーンベルトは道路幅が狭くガードレールの設置が困難な道路において、ドライバーが車道と路側帯を視覚的に、より明瞭に区分できるようにして交通事故を防止することを目的として設置されています。

6. 部活動について

Q104：中学校が、統合した後の部活動はどうなるのか。

A104：4月以降、両中学校で協議していただき、示していきたいと思います。

Q105：部活動は増えるかもしれないが、現在クラブチームで活躍している子どももいるが。

A105：クラブチームの中で切磋琢磨し、活躍していることは良いことだと思います。学校の中で、部活の選択肢が増えることも大切であり、選択できる環境づくりをしていきたいと思います。

7. 跡地利用について

Q106：学校の跡地はどうするのか。

A106：跡地利用については、学校が地域コミュニティの一端を担っていることを踏まえて、地域の方々の意見を伺いながら、市役所内部の庁内検討委員会等で十分協議し決定していきたいと思います。

Q107：跡地の管理はどうするのか。

A107：跡地利用の方向性が定まるまでは、市で定期的に草刈りをするなど安全面等も考慮し、管理していきます。

Q108：避難場所や選挙等で学校を利用しているが、今後はどうなるのか。

A108：避難場所、選挙等での活用については検討していきます。

8. その他

Q109：PTAの範囲も大きくなるが、それについてはどうするのか。

A109：PTA役員や検討委員会の中で協議していき、決定していきたいと思います。

Q110：説明会に出られない人もいる。何らかの形で意見を吸い上げてほしい。

A110：アンケートで意見等を伺っていくとともに、Q&Aを作成・市内に広報し、再度説明会を開催していきます。

Q111：湊小に学童保育は設置しないのか。

A111：子育てや遠くからの通学になると、学童保育は必要と考えられます。今後、担当課の子育て支援課と相談・検討していきます。

Q112：平成32年に統合するのなら、最初から新しい学校に行きたいといった場合認めるのか。

A112：現在も家庭の事情や部活動などで学区外通学をしているお子さんもいます。今後も、そのような場合には考慮していきたいと思いますので、ご相談ください。

Q113：地域の子どもが湊小へ行った後の、地区との連携や交流について。

A113：子ども達の健全育成には、学校・家庭・地域が連携して取り組むことが大切であると考えます。」地域で行われる児童・生徒が参加する行事においては、以前にも増して、地域からも積極的に声かけをお願いしたいと思います。

Q114：小さな学校はアレルギーにも対応してくれているが。

A114：アレルギーへの対応はどの学校も保護者から聞き取りをするなど丁寧に対応しています。学校で薬を預かることも可能です。

Q115：中学校がなくなると、教育後援会費の集金率が下がることが考えられる。

A115：学校で必要な経費の確保に努めていきたいと思います。

Q116：今後質問・疑問があった場合は、どこに問い合わせればよいのか。

A116：教育委員会学校教育課（80-1339）にお問い合わせください。

Q117：居住区の学校には通えないが、小規模校なら通えるという子ども達を受け入れる学校を作って、他市にアピールをしていけば子どもの人数は増えるのでは。

A117：小規模特認校制度という制度があります。この制度は、小規模校において教育を受けさせたいという保護者の希望に応えるため、学区外からの入学を認め、市内からの児童を受け入れる制度です。

この制度を導入している近隣市の小規模特認校においては、登下校を保護者の責任で行うことなどがあることから、現状では、希望者はあまりありません。

Q118：現在、佐貫小の学童を利用しているが、大貫の学童はいっぱい入れないと聞いているが。

A118：佐貫小学校については、再配置計画に含まれていませんので、そのまま佐貫小の学童をご利用ください。

Q119：災害の時はどうするのか。

A119：学校は避難場所に指定されており、安心できる場所と考えています。学校で安全・安心を確保していきます。また、台風などの災害時は、状況を見極めスクールバスで送迎していきます。

Q120：地域で子どもたちの様子を見ており、統合した場合は目が届かなくなる。また、親同士の交流も深められなくなるのでは。

A120：地域で子どもを育てていただいていることは理解しています。統合した際にも、地域で子どもを育てるという風土を新しい学校に取り入れていってほしいと思います。

また、地域の行事等に積極的に子どもたちが参加できるよう声かけをお願いします。

Q121：バスのこと、学校名のこと、制服などの意見をもっと聞いて、統合してほしい。

A121：保護者・地域の方々と十分協議していく必要があると思います。今後、個別の再配置計画（各学校ごとの計画）の中で、スケジュールも含めて示していきたいと思います。

Q122：教職員の人件費はどうなるのか。

A122：教職員の人件費については、国と県が負担しています。

9. 人口減少、少子化について

Q123：人口減少への対策は。

A123：現在、富津市では2040年の人口を見通して、「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に取り組んでいます。具体的には、富津市の魅力発信を通じて、地元への愛着を持つ人を増やすこと、交通の利便性を高め、移住者受け入れの環境整備、出産・子育てしやすい環境整備、雇用の創出、地場産業の振興、観光の振興などに取り組

んでいます。

Q124：過疎化が進んでいる。子供が増えるようにする方がよい。公園など住みやすい環境にしてほしい。

A124：「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」により、各部署で対策を実施しています。今後、第3子以降保育料無料化など子育てしやすい、街づくりを進めてまいります。